
盟和産業株式会社
2021年3月期第2四半期 決算説明会

2020年12月1日



目次

- I 第2四半期の損益状況と
通期見通し

- II バランスシートおよび
キャッシュ・フローの概要

- III 株主還元

I 第2四半期の損益状況と 通期見通し

第2四半期決算の主なポイント

- 1** **新型コロナウイルス感染拡大の影響による自動車減産等により3割減収、損失計上、中間配当無配**
- 2** **7月以降全体として回復基調、特に中国と米国は月別売上で前年同期を上回る状況**
- 3** **下期（3Q・4Q）の業績回復、6ヶ月間の営業損益黒字化を見込み、期末配当予想は1株当たり25円**

新型コロナウイルスによる減産時期

2020年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

新型コロナウイルス
感染拡大による減産

減産影響大
(特に4月・5月)

減産から
回復傾向

個別
(日本)

前期4Q

当期1Q

当期2Q

当期
3Q

連結2Q累計期間

海外
子会社

当期1Q

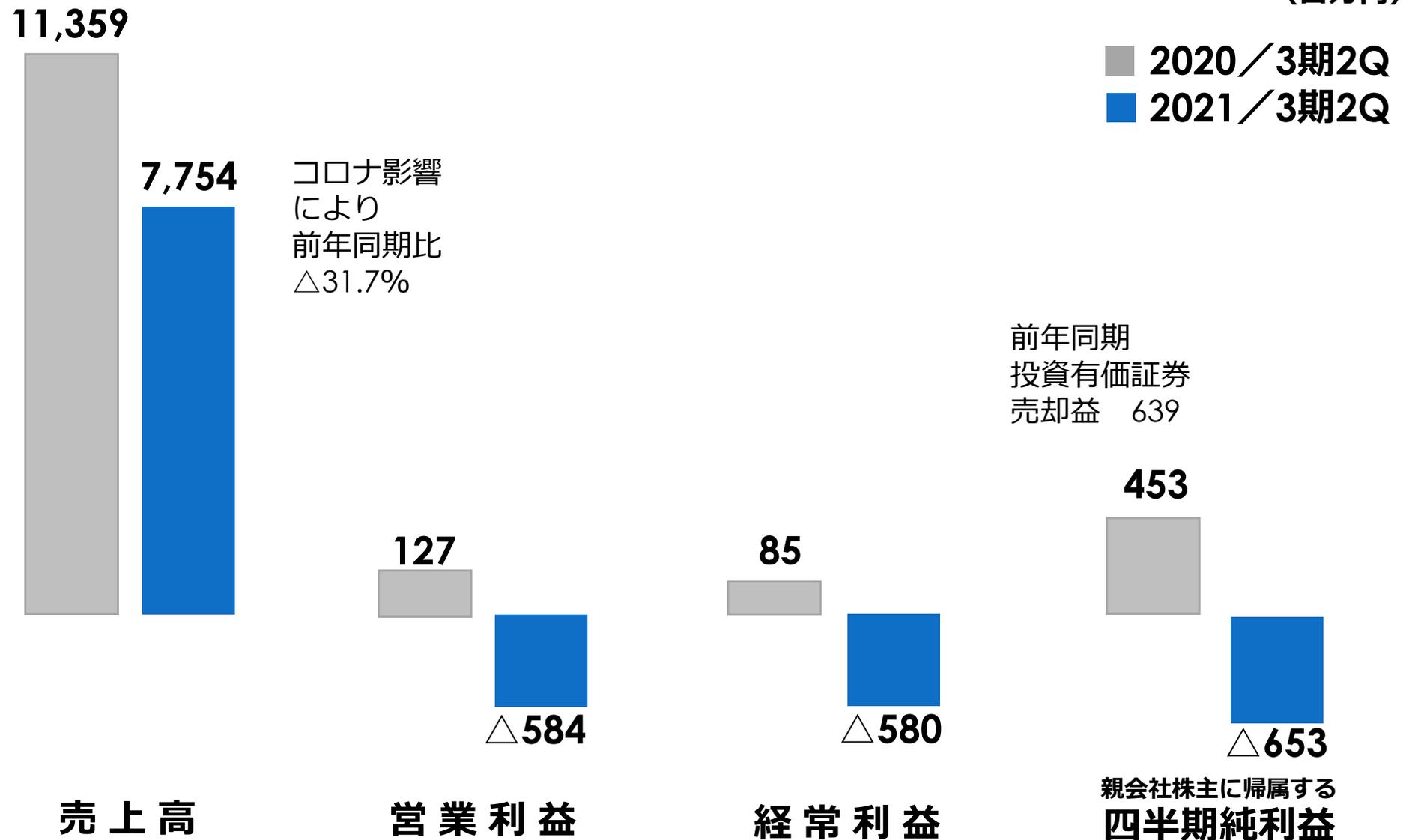
当期2Q

当期3Q

当期
4Q

第2四半期連結業績の概要

(百万円)



セグメント別業績の主なポイント

(百万円)

計 11,359



前期2Q
売上高

その他 7

計 7,754



当期2Q
売上高

その他 6

2020/3期2Q

■ 自動車部品 ■ 住宅 ■ その他

2021/3期2Q

■ 自動車部品 ■ 住宅 ■ その他

計 127



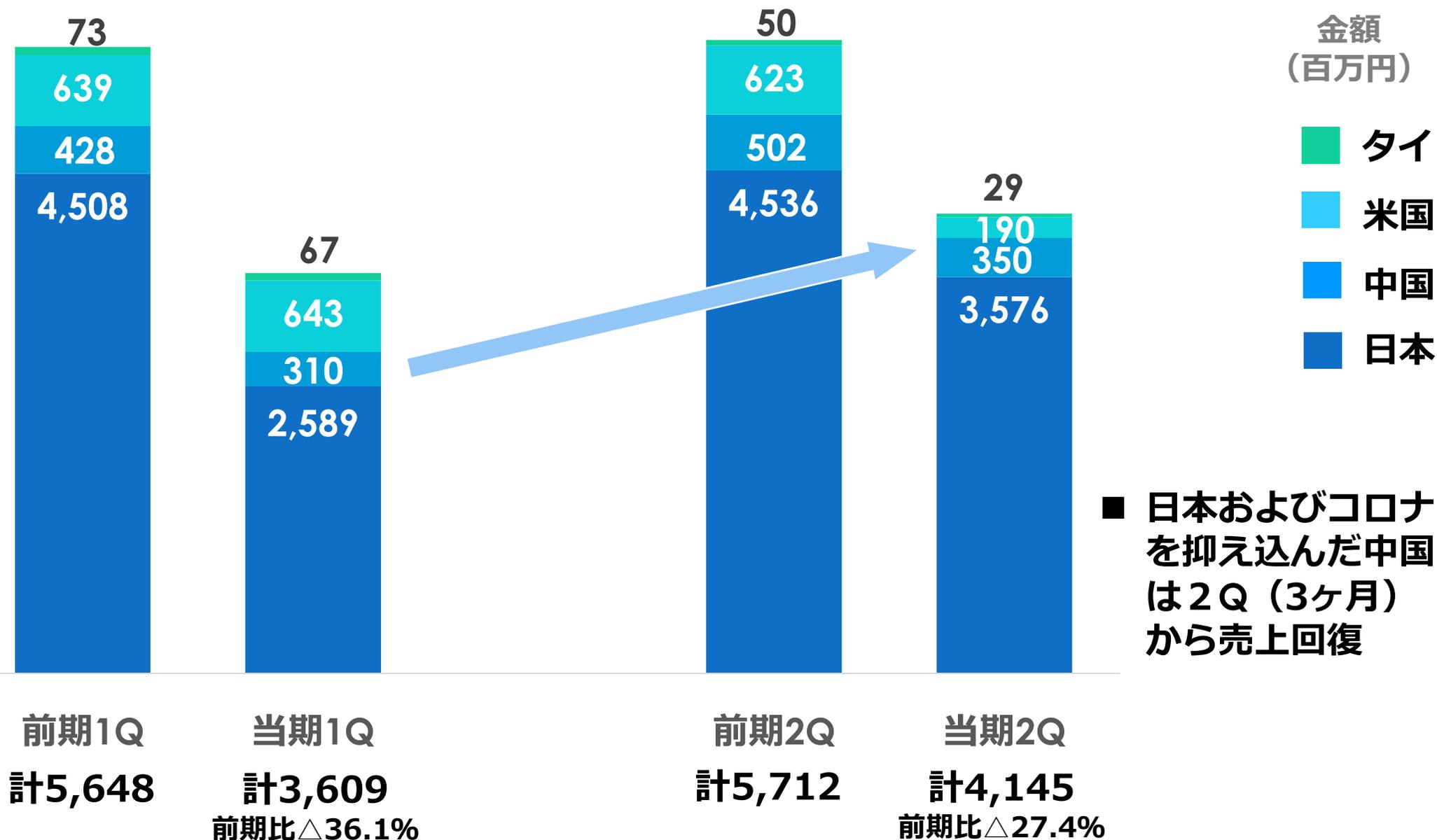
前期2Q
セグメント利益

計 △584



当期2Q
セグメント利益

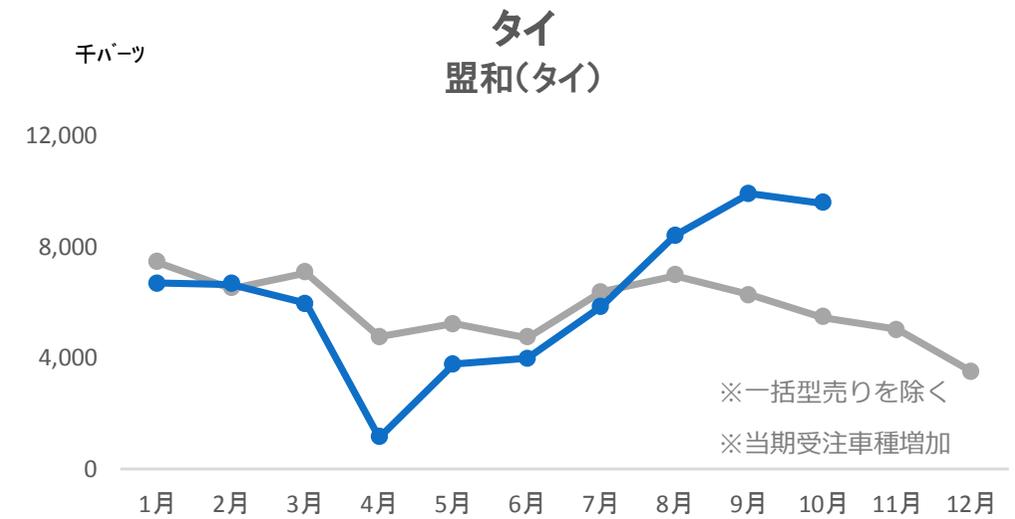
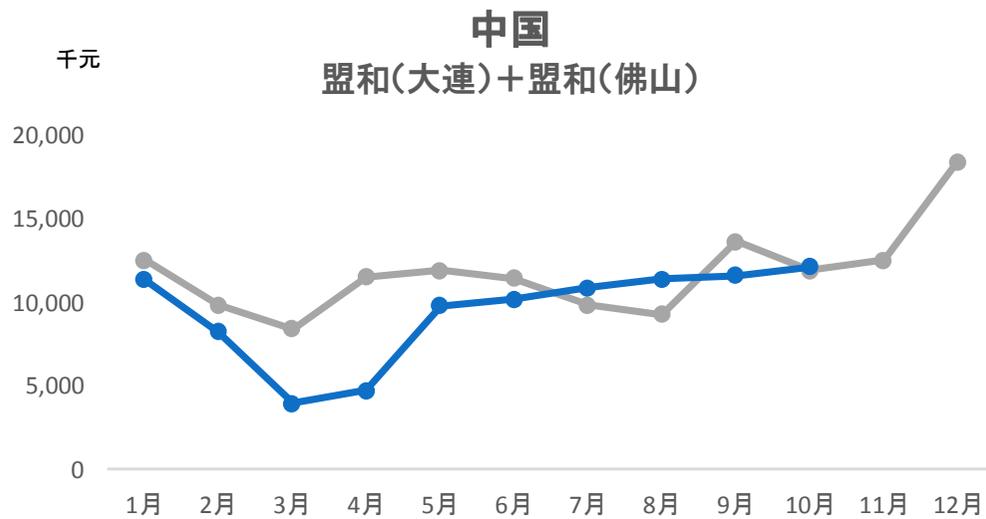
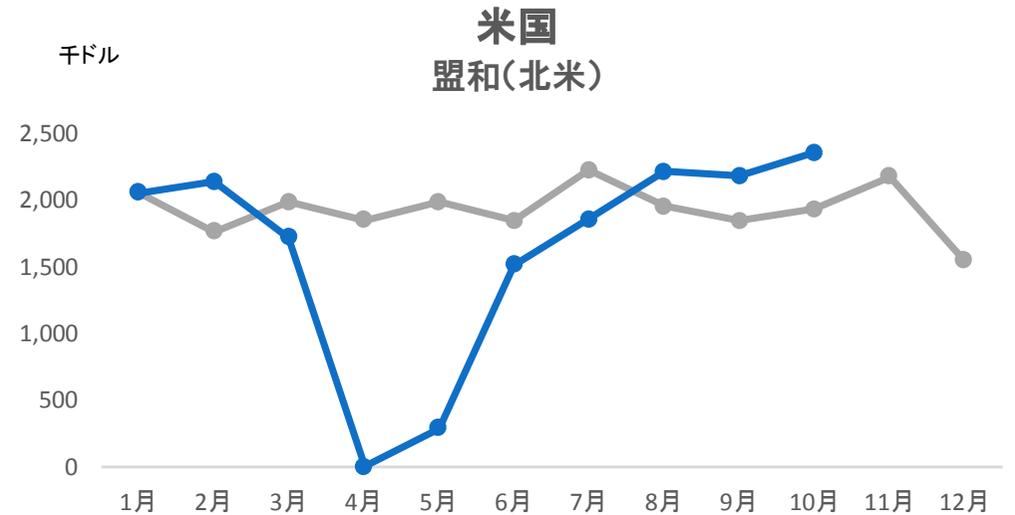
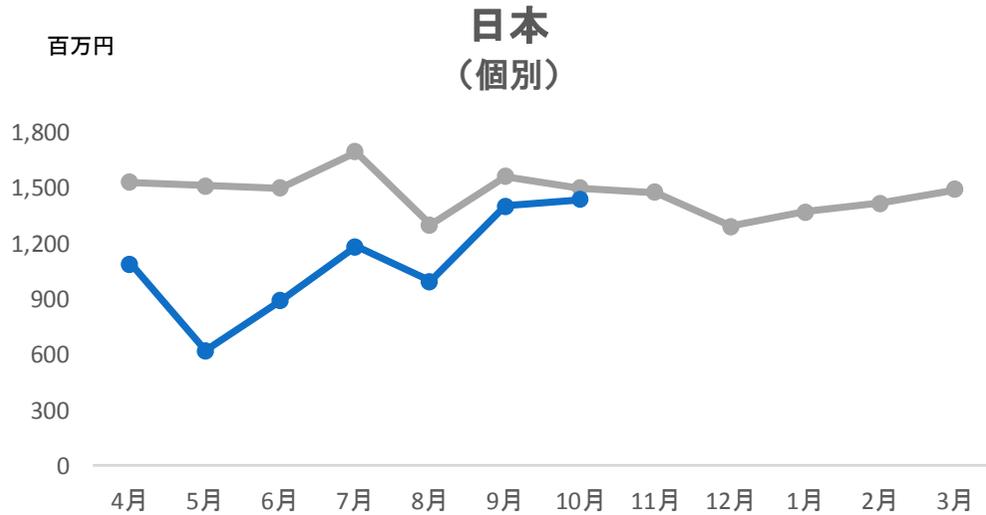
地域別売上高（四半期毎）



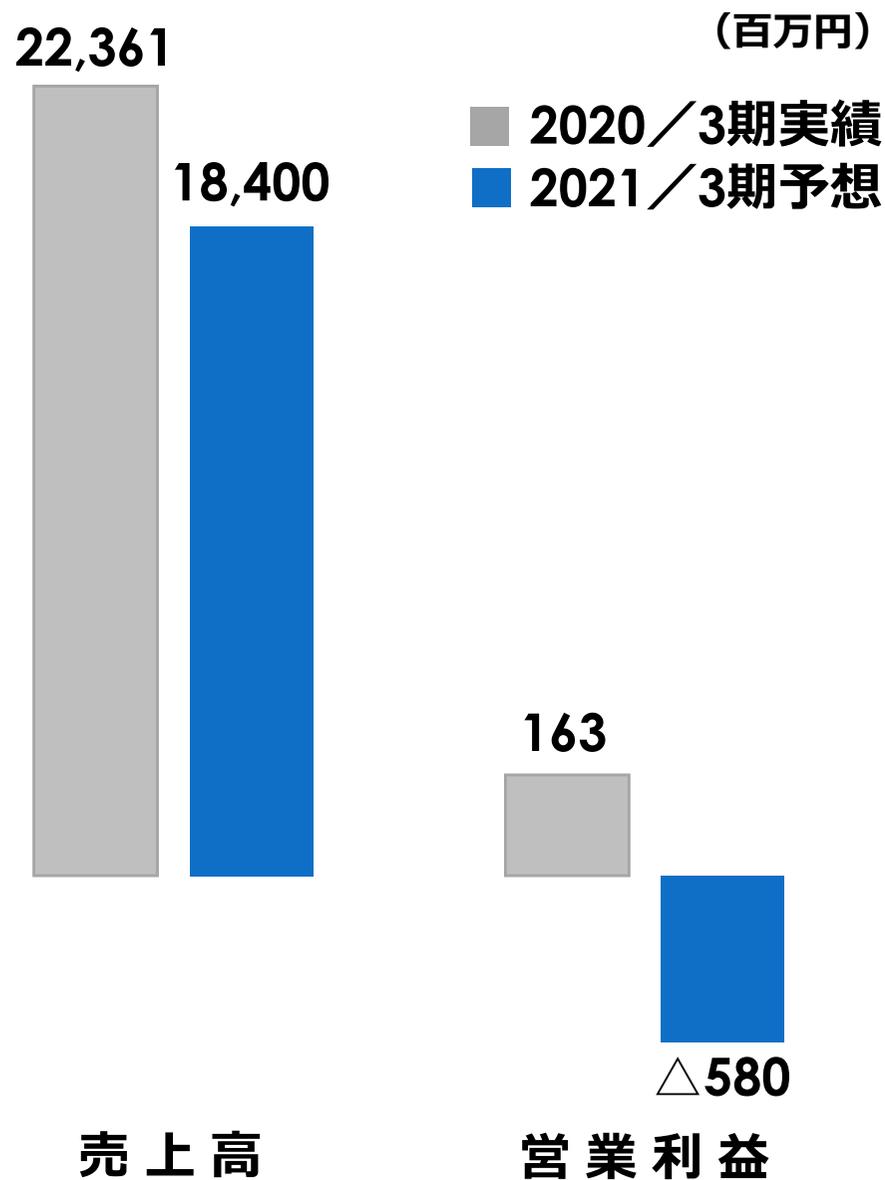
月別売上高（現地ベース速報値）の推移



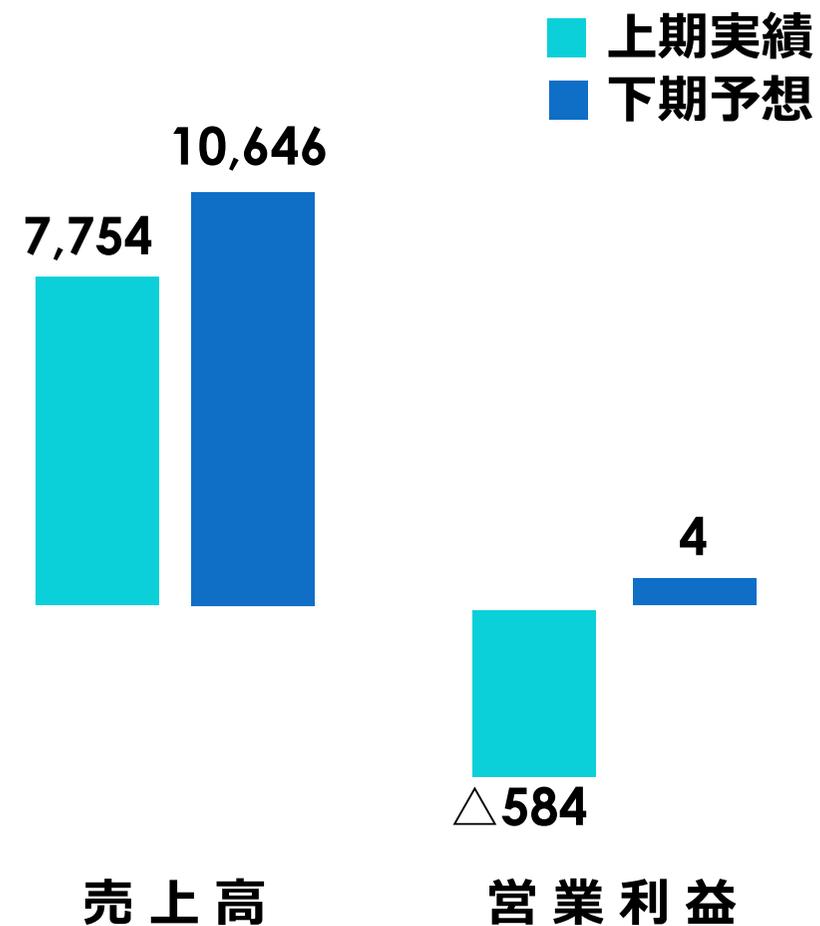
● 前年同期売上高 ● 当期売上高



通期業績見通し



下期 (3Q・4Q) 見通し



下期の営業黒字化

- 原価低減の強化と固定費の圧縮
- 売上変動に対応した適切な供給体制

持続的な収益改善

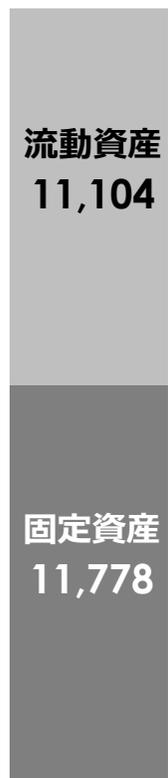
- 国内生産を効率的な体制へ変革
- 受注拡大に向けた体制見直し
 - ➔ 営業と技術開発・生産・調達の緊密な連携

Ⅱ バランスシートおよび キャッシュ・フローの概要

バランスシートのポイント

(百万円)

資産合計
22,882



2020/3月末

資産合計
21,181



2020/9月末

流動資産 Δ 1,789

現預金 Δ 637
売上債権 Δ 1,147

固定資産 + 87

負債純資産合計
22,882



2020/3月末

負債純資産合計
21,181



2020/9月末

流動負債 Δ 566

仕入債務 Δ 1,188
短期借入金 + 791

固定負債 Δ 348

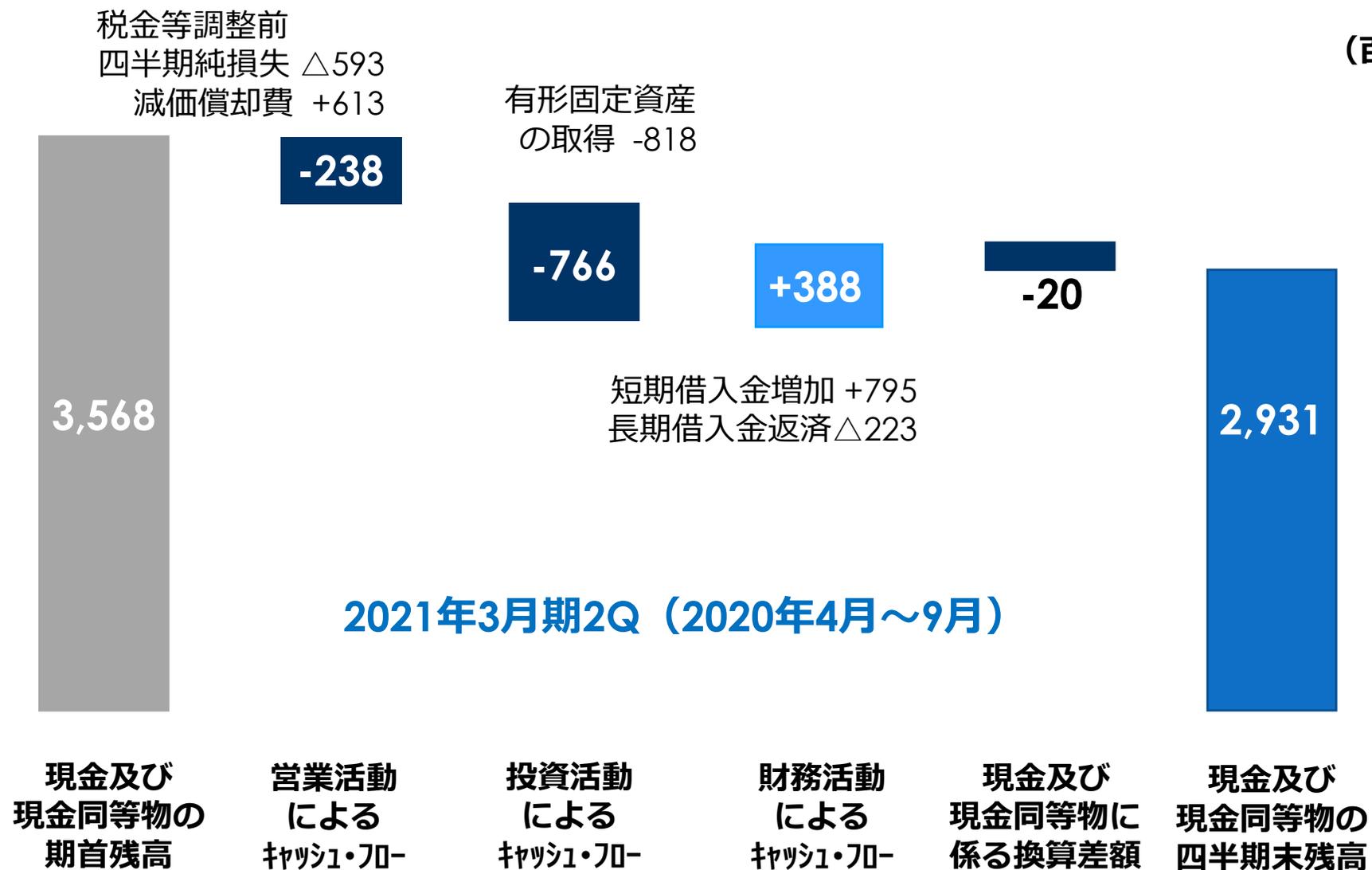
長期借入金 Δ 265

純資産 Δ 786

利益剰余金 Δ 740

キャッシュフロー計算書のポイント

(百万円)

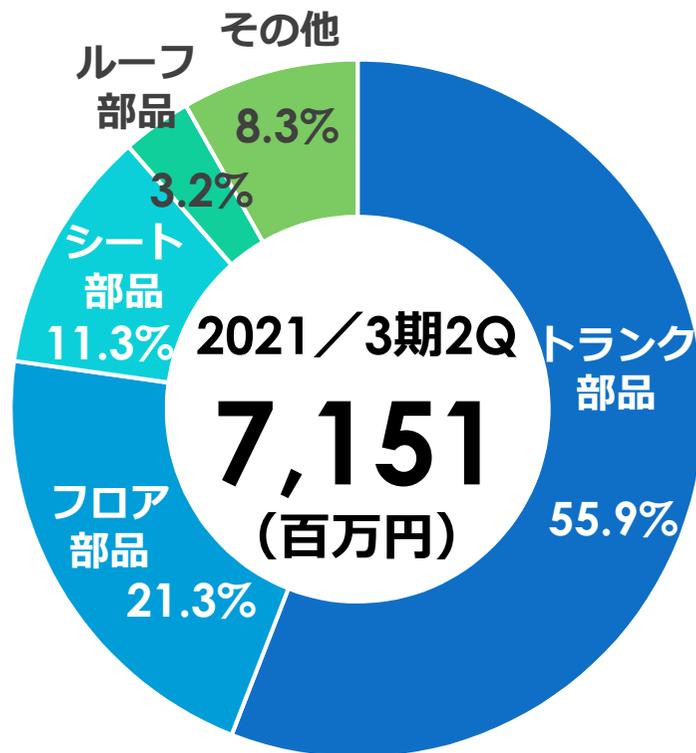


(参考) 売上高の内訳等

自動車部品の部位別売上高

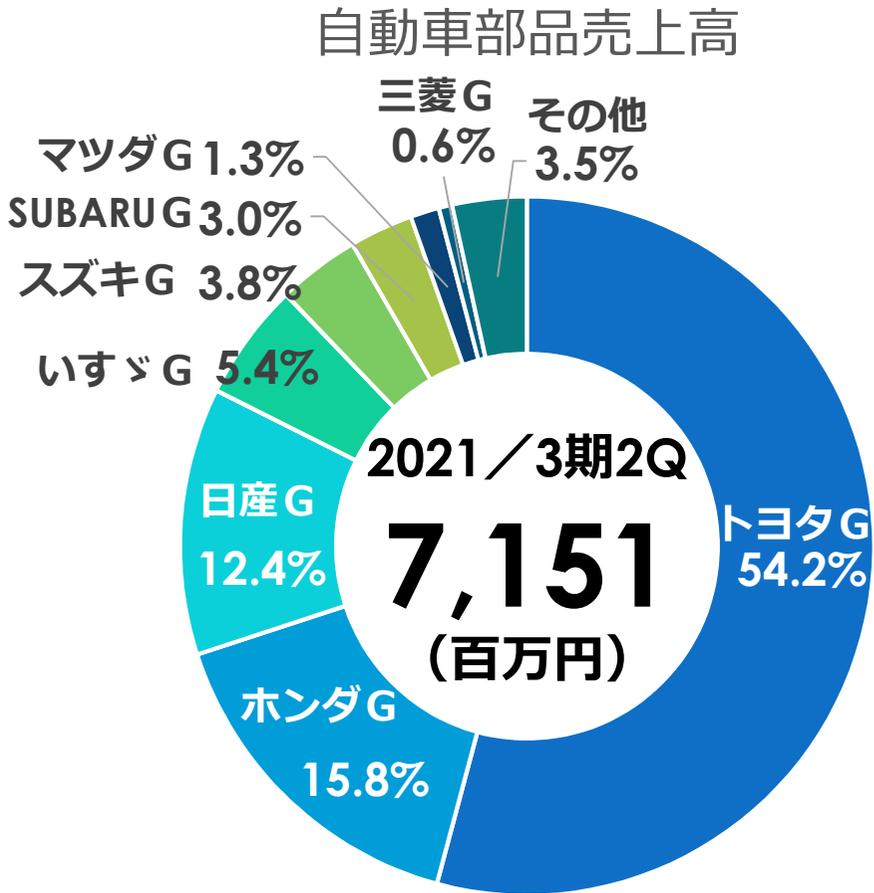
売上構成はトランク部品が約 6 割

自動車部品売上高



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	3,998	55.9
■ フロア部品	1,522	21.3
■ シート部品	809	11.3
■ ルーフ部品	231	3.2
■ その他	589	8.3

自動車部品のメーカー別売上高



トヨタグループ向けが約 6 割

	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トヨタG	3,875	54.2
■ ホンダG	1,129	15.8
■ 日産G	884	12.4
■ いすゞG	388	5.4
■ スズキG	273	3.8
■ SUBARU G	212	3.0
■ マツダG	96	1.3
■ 三菱G	44	0.6
■ その他	247	3.5

中期経営計画RD365 概要

- 期間：2020年3月期～2022年3月期（3年間）
- 重点課題
 - ◆ 収益力強化 グローバル各拠点の収益化
 - ◆ 市場開拓 内外連携強化し受注拡大
 - ◆ 新技術開発 次の主力製品開発
- 3年後、当期純利益6億円 ROE5%以上を目指す

新型コロナ影響を踏まえ今後見直し検討
重点課題の方向性は不変
コロナ影響の挽回と収益改善に注力

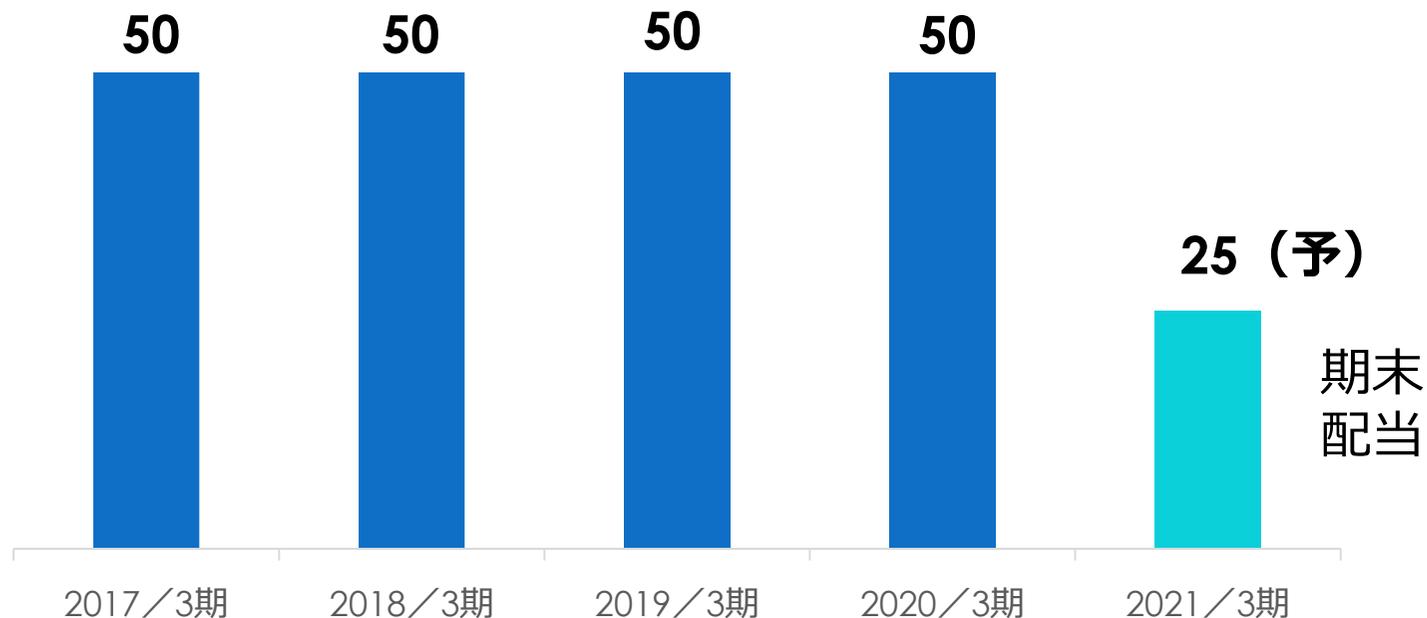
Ⅲ 株主還元

利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

一株当たり配当金の推移

(単位：円)



- 中間配当は新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響を勘案し見合わせ
- 期末配当予想は3Q以降の業績回復を見込み25円

本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。

盟和産業株式会社

